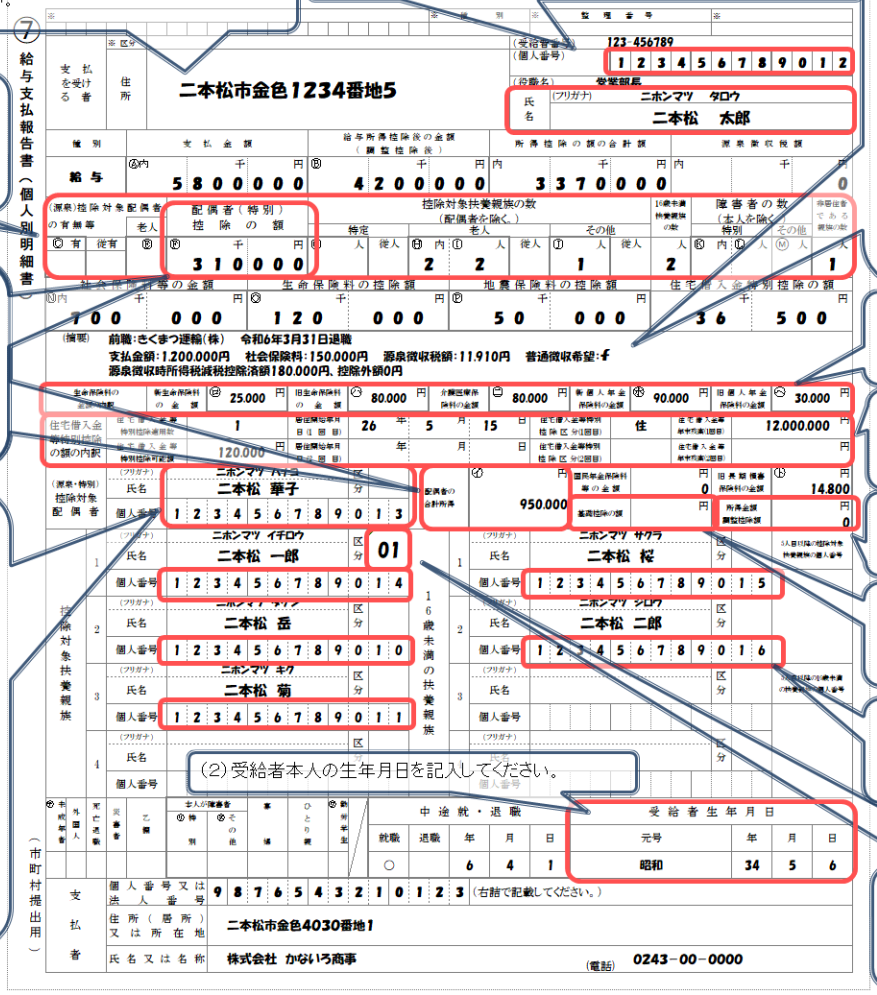
記載例（個人別明細書）



(2)受給者本人の令和7年1月1日現在の住所を記入してください。

(1)(2)受給者本人のマイナンバー、氏名、フリガナを記載してください。

(6)他事業所給与を合算している場合は事業所毎に名称・収入・社会保険料・源泉徴収税額を記入してください。

(7)普通徴収とする場合は、該当する理由の記号を記載してください。

定額減税における特別控除について、実際に控除した減税額と引ききれなかった減税額をそれぞれ記入してください。

(3)(源泉)控除対象配偶者の有無、配偶者(特別)控除額、扶養親族の人数を記載してください。

(3)配偶者(特別)控除額、配偶者の合計所得を記載してください。
※配偶者控除の場合でも控除額・合計所得の記載が必要です。

(4)生命保険料控除がある場合は、保険料の金額の内訳を必ず記載してください。

(5)住宅借入金等特別控除の適用を受ける場合は、内訳を記載してください。

(1)(3)(源泉)控除対象配偶者、配偶者特別控除の対象となる配偶者の氏名及びマイナンバーを記載してください。

(3)同一生計配偶者(控除対象配偶者を除く)を有する方は、氏名とその後に「(同配)」と摘要欄に記載してください。また、その同一生計配偶者が障害者、特別障害者又は同居特別障害者に該当する場合には、その旨も摘要欄に記載してください。

(9)年末調整した際のみ、所得金額調整控除額を記載してください。

(8)年末調整した時のみ、合計所得金額による基礎控除の額を記載してください。

(1)(3)控除対象扶養親族、16歳未満の扶養親族のマイナンバーを記載してください。

(2)受給者本人の生年月日を記入してください。

(3)扶養親族の中に国外に居住する非居住者の方がいる場合は、区分の欄に要件01～04のいずれかの番号を記載してください。

【普通徴収切替理由】

- a　受給者総人員（他市町村の受給者も合わせた人数。退職者、専従者を除く）が**2名以下**
- b　**他から支給されている給与から**個人住民税が**特別徴収されている**者（乙欄適用者含む。）
- c　**給与が毎月支給されていない**者
- d　毎月の**特別徴収すべき税額が、給与支払額を超える見込み**の者
- e　**事業専従者**（給与支払者が個人事業主の場合のみ該当）
- f　**退職者、休職者**又は給与支払報告書を提出した年の**５月３１日までの退職予定者**

※ｅＬＴＡＸにより提出する場合であっても、普通徴収を選択した上で摘要欄へ上記記号の記載をお願いいたします。
普通徴収の申し出があっても、記号の記載がない場合は特別徴収とさせていただきます。